

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2018年度 助成者)

作成日 2018年 9月 6日

氏名 (フリガナ)	福西智美 (フクニシトモミ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2018年8月13日 (月) ~ 8月18日 (土)
大学名	大阪医科大学
学年	5年

本研修では、たくさんの方のことを学び、同時に、これからの課題も見つけることができ、実り多い1週間を過ごすことができました。

医学英語の授業では、**History Taking** と **Case Presentation** を重点的に学びました。毎朝、**History Taking** と **Case Presentation** に関するレクチャーを受け、午後は実践的な練習を繰り返しました。ハワイ大学の学生に患者役をしてもらい、実際に彼らから病歴を取り、プレゼンをするという内容です。自分の中で鑑別疾患を挙げ、患者さんから漏れなく必要な情報を集めるために、何を問診すれば良いか考えました。その情報を適切にまとめることも難しく、レクチャーで習った表現や友だちが話しているわかりやすい表現を真似して使い、なるべく伝わりやすいプレゼンをするよう心がけました。これまで、疾患の病態生理やその疾患を持つ患者さんがどのような症状を示すかを勉強してきました。しかし、**History Taking** と **Case Presentation** では、患者さんが訴える症候から、疾患を考え、さらに必要な情報を問診する必要があります。症候から疾患を絞るといふより臨床的なプロセスを学ぶことができました。今後は、この双方向の視点で、より多くの知識を身に付けられるよう努力したいです。

また、アメリカの医療や医学教育を間近で感じることもできました。**Kuakini** 病院や **JABSOM** を見学させていただいたり、実際にアメリカで働いておられる先生方のお話をうかがうことのできる機会もたくさんありました。アメリカと日本の医療の違いを実感できるエピソードをお話いただいたり、アメリカの医学部でどのような教育が行われているか教えていただいたりしました。様々なお話をうかがい、広い視野でこれからのキャリアを考えられるようになりました。

そして、このプログラムには、様々な大学から 30 名が参加されていました。**Medical Ethics** の授業では、みんなで、医師や看護師、患者の家族など様々な立場に分かれて、一つの倫理的な問題についてディスカッションをしました。自由時間にもみなさんとたくさんお話でき、とても楽しかったです。それぞれに多様な課外活動に参加されていたり、グループで英語の勉強をされていたり、興味のあることに積極的にチャレンジされていて、とても良い刺激を受けました。

ハワイという素敵な環境で、**History Taking**・**Case presentation**、アメリカの医療や医学教育について学び、普段出会うことのできない様々な大学からの参加者と共に充実した1週間を過ごすことができました。

最後になりましたが、日米医学医療交流財団の皆様、ご指導いただいた先生方、**HTIC** のスタッフの皆様、このような貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございます。この研修で学んだことを生かせるよう、これからも頑張っていきたいです。